

## 教室1 学校活用プロジェクト「教室活用プランづくり&DIY」 第2回レポート

少し肌寒くなってきた朝の9時、第2回「教室活用プランづくり&DIY」の授業が始まりました。

前回からの宿題は、「くじで当たった道具を使ってスツール（背もたれのない椅子）を考えてくること」。受講生の皆さんは、ちゃんと考えてきてくれているのでしょうか？

宿題を発表する前に、講師の足利さんから「形にとらわれず、座った人が笑顔になる椅子を考えましょう」というお話がありました。前回のくじで鍋を引き当てた受講生は「こうやって鍋を重ねて…。この椅子、私のお尻が入るかしら…？」と苦笑い。教室内は和やかな雰囲気になりました。



た。

教室の片隅には、すでに角材や軍手、作業台が設置されており、校庭には丸ノコやグラインダー、電動ドライバーなど、DIYで使う工具がたくさん並んでいます。今日はこれらを使って、受講生が考えてきた世界に一つだけのオリジナル椅子づくりに挑戦します。

まずは、それぞれの工具の使い方を足利さんが実演。「丸ノコはキックバックが起きないように、しっかりと持ってください」「グラインダーは回転が完全に止まってから置くように」。受講生の表情は真剣そのもの。一瞬の不注意は事故につながりません。

普段、見ることも触ることもない工具を手に取り、恐る恐る枕木にビスを打つ小さな受講生。それを講師の吉富さんが、後ろからそっと見守ります。



この日は、地域おこし協力隊応募者5人がおためし体験プログラムで各教室に参加しており、受講生の椅子づくりをお手伝い。

「グラインダーで磨いて、お父さんと一緒に座れるようにしましょう！」

地域おこし協力隊応募者のアドバイスのおかげで、二人掛けのかわいい椅子が完成しました。講師の足利さんが最初に言っていた、「座った人が笑顔になる椅子」です。



ほかにも、ギターケースを切って並べた、こちらも2人掛けの椅子が完成。

座った人たちが仲良くなれる椅子。とっても素敵なアイデアですね！

